

# センターにおけるスクーリング指導

青木 正

0. はじめに
1. スクーリング指導の目標
2. スクーリングカリキュラム開発のプロセスとその結果
  - 2 - 1. 状況分析
  - 2 - 2. 目標設定
  - 2 - 3. プログラムの設計・実施・評価
3. スクーリング指導の実際
  - 3 - 1. 指導項目
  - 3 - 2. 課題学習
  - 3 - 3. 指導方法
  - 3 - 4. 指導上の留意点
  - 3 - 5. 自学教材の開発
4. 今後の課題

## 0. はじめに

1994年度より、残留婦人の永住帰国が国費により、本格的に実施され始めた。当中国帰国者定着促進センター（以下、センター）でも、1994年10月より帰国婦人家族（帰国婦人・婦人配偶者・婦人2世・婦人2世配偶者・婦人3世）の受け入れが始まった。同時に、帰国孤児家族についても、今までは原則として20歳以下の2世の同伴しか認められていなかったが、孤児本人が60歳以上の場合は、21歳以上の2世家族一世帯の同伴が認められるようになり、孤児3世も含んだ帰国孤児家族の受け入れも開始された。

センターの施設は、生活棟である宿泊棟と学習棟である研修棟にわかれている。4ヶ月の通学が可能な者（自転車10分、徒歩30分）は研修棟、通学が難しい者は宿泊棟で研修を受ける。主な研修棟での学習者は、婦人2・3世、孤児家族（本人、配偶者、2・3世）で、宿泊棟の学習者は、婦人、婦人配偶者、高齢者や障害者の介護や未就学児童の世話のために、研修棟での研修に参加できない婦人2世や孤児2世等である。宿泊棟指導は基本的には婦人中心のカリキュラム<sup>1)</sup>が組まれているため、研修棟での研修に参加できないこれら婦人2世や孤児2世等が日本語の学習の機会を望んでも現状では難しかった。

こういったことからセンターではこれらの学習者に少しでも学習及び日本人との接触の機会が提供できたらと考え、43期(1994年6月)より、スクーリング指導を開始した。これまで、スクーリング指導を受けた学習者は5期9名である。

本稿では、センターで行われているスクーリング指導についての試みを紹介する。

## 1. スクーリング指導の目標

スクーリング対象者は、センター在所中も定着後も家庭の事情により、学習の場への日常的な通学が困難であり、家庭内に閉じこもりがちになり日本人との接触機会も持ちにくい状態にある。なおかつ、家庭内でも学習に集中できる時間が限られている。

そこで、スクーリング指導の目標として

第一に、『自己学習に対する動機付けと自己学習に必要な知識と技能を養成すること』

第二に、『日本人との接触を怖がらず、少しずつコミュニケーションを取ることにより、このように学習していけば「話せるようになる」「勉強を続けていける」という自信が授業を通して少しでも持てること』

とした。

## 2. スクーリングカリキュラム開発のプロセスとその結果

カリキュラム開発のモデルは以下のように表される2)。

- . 状況分析
- . 目標設定
- . プログラムの設計
- . プログラムの実施
- . 評価

これに沿ってスクーリングのカリキュラム開発を考えた。

## 2 - 1 . 状況分析

### 1 ) スクーリング実施体制

時間：月曜日と木曜日、4 : 0 0 ~ 5 : 1 5

場所：研修棟

指導者：講師2名（内1名は、中国語使用が可能な講師）

スクーリング対象者は、研修棟での1日の研修が終わった家族が宿泊棟に帰ってから研修棟に来ることになるため、授業開始は4時過ぎになる。在宅学習のペースを考えて週2回の登校授業とした。対象者の家事や食事の時間の都合から1回の授業は4時から5時15分までとした。また、各学習者のタイプ、学習スタイル、日本語の既習度の多様性から個別化が必要になる。スクーリング指導に当てることができる講師数が限られていることと、每期対象者は2～3名であるため、2名の講師を確保した。

### 2 ) スクーリング生に関するデータ収集

学習者データ聴取（学習者の来日経験、学歴、職歴、外国語学習歴、日本語学習歴、退所後の希望等）

プレイメントテスト（学習適性、日本語の既習度等）

ビリーフ調査1 [ 資料1 ] 日本語学習の考え方について

ビリーフ調査2 [ 資料2 ] 既習者に対して、今までの日本語学習の方法について

### 3 ) スクーリング生の学習環境調査

2)のデータをもとに問診表[ 資料3 ]で宿泊棟での学習環境、生活環境、サポート、現在の日本語学習についてのイメージ、退所後の日本語学習及び生活環境についてのイメージ等を学習オリエンテーションをかねて尋ねる。

### 4 ) 結果

日本語学習経験のあるスクーリング生でも平仮名を学習して来た程度で、大部分のスクーリング生が日本語学習経験がない

スクーリング生の多くは、帰国婦人2世の配偶者（女性）か帰国孤児2世の配偶者（女性）である。（帰国婦人2世の配偶者（女性）6名、帰国孤児2世の配偶者2名、男性の帰国孤児1名）

家庭（宿泊棟）で集中して学習できる時間が少ない  
宿泊棟から外に出かける機会が買い物とスクーリングの時のみで少ない  
（買い物もほとんど行かないスクーリング生もいた）  
日本語学習についてのイメージ（どんな日本語が必要か、どんなことを  
学習したいか等）がほとんどない。

## 2 - 2 . 目標設定

### 1 ) 学習者タイプ

2 - 1 . の結果をもとに、研修棟学習者に対するプレースメントテストの  
規準に沿って学習者をタイプ分けする3 )。これをスクーリング体制で実施  
可能な3つのグループに分けた。たまたまk ~ mタイプの学習者は今までス  
クーリング生にいなかったが3つのタイプは以下の通り。

a + bタイプ...非識字者で日本語未習

多くは就学の経験がないため、学習技術を持っていない  
学習者が多く、学習の仕方も練習する必要がある。また、  
中国におけるこれまでの生活で、文字が読めないゆえ、  
金融機関の利用や交通機関の利用等の社会生活の経験が  
乏しいことが多い。

c ~ hタイプ...識字者で日本語未習

日本語学習歴がなく中国での学歴が小学校卒から中学校  
卒程度で、定着地に行ってから も自分で学習していくこ  
とが難しいと思われる学習者。

k ~ mタイプ...識字者で日本語既習者

日本語学習歴があり、自己学習能力や技術がすでにある  
と思われる学習者。

### 2 ) タイプ別目標

a + bタイプ...生活技能重視、最低限の基本的な学習技能（文字を頼り  
とする自己学習能力の養成）

c ~ hタイプ...基本的な自己学習能力の養成

k ~ mタイプ...自己学習能力は既にあるという前提でそのスタイルを尊  
重し、講師と学習相談しながら学習を進める。

## 2 - 3 . プログラムの設計・実施・評価

2 - 2 . で紹介した3つのタイプの学習項目は研修棟学習者用に作成されたa・c・f・h・mタイプの目標構造表4)から取捨選択し学習項目表を作成する。

次に、学習項目をどんな順序で、どんな方法で実施するのが最適か考え、プログラム設計表を作成し、それに沿って4ヶ月間実施する。途中、学習者とのコンサルティング、教授者の観察によりプログラムの変更が必要な場合は、その都度修正を行う。

修了時、スクーリング生に、入所時に実施したピリーフ調査と最終評価のための修了時アンケート [ 資料4 ] を記入してもらおう。

## 3 . スクーリング指導の実際

本章では特にスクーリング生の中で一番多いと思われる、(c~hタイプ)のモデルプログラム [ 資料5 ] を例にスクーリング指導の方法と内容を紹介する。

### 3 - 1 . 指導項目

#### 1) 話題・語彙

自己紹介項目に関する語彙の導入、簡単なやりとり  
基本的な動詞・形容詞・副詞の導入、簡単なやりとり  
日本人とのコミュニケーションに慣れる

#### 2) 文法及び自学のための技能

基本的な文法項目のまとめ(名詞文・イ形容詞文・ナ形容詞文・動詞文)  
自学のための技能

- a . テープレコーダーの使い方 一時停止ボタンの使い方と課題学習の問題用紙の記入の仕方。
- b . ノートの取り方、使い方 初期の段階では平仮名も未習のため、記憶の補助として日本語の音に近い音の中国語の漢字を書く練習、更に その中国語の漢字を見て再生できることを目標にする。次の段階

として既習の平仮名を使ってノートに書き写し再生できることを目標とする。

- c. 辞書引きの指導は学習者の中国での辞書引き経験、中国語の識字力等から判断してどこまで指導するか決定する。なお、辞書引きの指導が難しい学習者には、わからない語彙は日本語がわかる人に尋ね、語彙を蓄積する方法を学習する。

### 3) 生活行動場面

センターでの現在の生活でも実現可能な行動場面

買い物、道・場所聞き、教師との電話連絡

定着地での生活で想定される場面

近所付き合い、病院、学校や職場との電話連絡

交通機関、求職、住宅事情、教育事情、手続き 5)

## 3 - 2 . 課題学習

スクーリング生の学習はセンター在所中も退所後も自宅での学習が基本となる。そのため、自学力養成がスクーリングの重要な目的になることは先にも触れた。そこで、スクーリングでは“課題学習”のプログラムを実行することにより自学に必要な技術や方法を身につけ、かつ学習項目も消化できるように考えた。また、目標までの過程を細かく区切り、学習者自身が自己評価できるようにしたいと考えた。

### 1) 課題学習の内容

絵単語 6) ・文字 (平仮名・片仮名・身のまわりの漢字) ・数字 (5桁までの数字、時刻、金額、助数詞) 中心。

これら以外の語彙及びいろいろな場面で使える便利な表現はスクーリング生の様子を見ながら課題として予習にするか、復習にするか判断する。

なお、絵単語・文字・数字以外は復習中心に行う。また、後半は自分でなるべく課題の内容や量について選べるように、教師から出される課題の量は少なくする。

### 2) 課題学習実施の流れ

スクーリング翌日、スクーリング担当者のところに、スクーリング生の家族が課題を取りに来る。

次のスクーリングまでに、スクーリング生は自分のペースで課題を終わらせる。

スクーリングの授業の始めに課題を教師と1対1でチェックする。この時、スクーリング生に課題の難易度、分量、学習時間、課題に対する要望 等も合わせて尋ねる。

次の日、スクーリング担当者が課題を採点する  
の結果から次の課題を決め準備をする。

これを表にすると以下ようになる。

[ 表 1 ] 課題学習 1 週間の流れ

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
スクーリング 担当者	スクーリング	課題採点 課題準備 家族に課題を渡す		スクーリング	課題採点 課題準備 家族に課題を渡す
	課題個別 チェック			課題個別 チェック	
学習者	スクーリング 課題提出	家で自習	家で自習	スクーリング 課題提出	家で自習

### 3 - 3 . スクーリング授業の流れ

スクーリング指導は毎回 7 5 分の授業のうち、まず初めの 2 0 分でマンツーマンによる前回与えた課題の達成度チェック及び学習相談を行い、残りの時間で同じ目標と一緒に学習できるスクーリング生と教師 1 名によって授業を行う。毎回授業終了時、今日のまとめとして、教師が板書した語彙や表現をノートに書き写し、その語彙・表現を教師と一緒に録音する。

[ 表 2 ] スクーリング指導

4:00	4:20	5:10	5:15
課題 チェック	授 業		まとめ 録音

指導項目は 3 - 1 . の 3 つに分けたが、1 週 2 回の授業のうち 1 回は 1 ) 話題・語彙の授業、もう 1 回は 2 ) 文法及び自学のための技能または、3 ) 生活行動場面の授業を行う。

### 3 - 4 . 指導上の留意点

#### 1 ) 学習環境への配慮

介護や保育のため集中して学習できる時間が取れないスクーリング生が多い。そのため、課題の内容や量の工夫が必要である。

ネイティブ話者による耳からの日本語インプットが極端に少ない場合が多い。したがって、スクーリング時間が貴重なインプット源となるので、担当者は、スクーリング生の過度の負担とならない限り日本語のシャワーを浴びせることを意識する。

研修棟の学習者同士であれば、「不完全な日本語」であっても何とか教師とコミュニケーションがとれているという、授業で得られる安心感が得られないため、スクーリング生自身は、日本語で発話することに対して億しがちな場合がある。したがって、担当者はリラックスできる雰囲気や教材等に心がける。

スクーリング生は毎日、介護や保育と家事に追われ、孤立した環境におかれているので、担当者はスクーリングの場が息抜きとなることも認識しておく。したがって、担当者は、リラックスできる雰囲気や教材などを心がける。

#### 2 ) 学習相談のポイント

担当者はスクーリング生との接し方に注意し、歓迎されているという雰囲気を作ることが必要である。

学習相談（含課題チェック）は担当者と1対1で行うため担当者とスクーリング生との年齢や性別を考慮し、組み合わせをしたほうがよい。

2 - 1 . の結果からわかるように、日本語学習について何を学習したいかイメージを持っていないスクーリング生が多い。このことを考慮に入れ担当者はスクーリング生に情報を一方的に与えるのではなく、両者の相談の中から学習のイメージがスクーリング生から導き出されるのを援助することが大切である。

### 3 - 5 . 自学教材の開発

教材は、センターでいままで開発された教材を使用しているが[資料6]、スクーリング生向けの教材を考えるとまだまだ不十分であった。そこで現在以下の自学教材を開発中である。

#### 1) テープ教材

家庭での自学教材はテープ教材を主体に準備しているが、聞き書きの時、一時停止ボタンが有効に使えないスクーリング生や、何度も繰り返し聞くことが面倒なスクーリング生用に、5つぐらいの語彙をテープの片面10分ぐらいに繰り返し録音し、スクーリング生がずっと聞き流せるテープ教材を作成した。

#### 2) ビデオ教材1

いろいろな場面で使える便利な語彙・表現(どこですか、すみません等)のビデオ教材。

#### 3) ビデオ教材2

スクーリング生の日本語に対する不安や緊張を和らげさせるためのビデオ教材。場面は、研修棟の学習者と教師が簡単な話題をめぐって日本語でやりとりしているもので、研修棟の学習者は「不完全な日本語」ながら積極的に使用し、教師とのコミュニケーションを行っている。スクーリング生もこのような場面を見ることで日本語に対する壁を低くしていくことをめざす。

#### 4) 文法

日本語の文法に関して、説明文を読んでもわからない、設問の意味がわからない、問題文が難しい等学習者にあった教材がなかった。そこで、スクーリング生にあった文法教材を試作中である。日常よく使われている会話を例に出して説明し、問題文も問題が抽象的でなく具体的でなるべく学習者本人のことにについて尋ね、学習者が答えやすいような設問にした教材を作成している。

これらも完成したわけではなく試行錯誤を繰り返しながら作成している途中である。まだまだ学習者一人一人にあった自学教材は不十分である。今後も、

定着後の学習を視野に入れた自学教材の開発が必要である。

#### 4. 今後の課題

##### 1) センターにおけるスクーリング指導の課題

毎期スクーリング対象者は2～3名で、偶然にも同じタイプであったので一斉授業ができ教師2名の体制で対応ができた。しかし、今後、スクーリング対象者の人数が増加し、さらにタイプの多様化が進んだ場合、現在の体制では対応しきれないことが予想される。したがって、このような場合の体制づくりについて考慮しておく必要がある。教師の人員配置の限界と日本人との接触の機会を多く持つという二つの点からも、ボランティアが参加するプログラムの開発を考えていきたい。また、今までのスクーリング生は、a + b、c～hタイプに限られており、今後このようなタイプ以外のスクーリング生の入所も考えられるので、k～mタイプのモデルカリキュラムの作成が急務であろう。

##### 2) 定着後の課題

介護者や保育者への学習の場の提供ということからスタートしたスクーリングであるが、スクーリング生は日々介護や保育に追われ、宿泊棟から出る機会も非常に少ない。スクーリングを実施して痛感したのは、スクーリングでの時間が日々の介護や保育、さらに家事全般から解放される時間になっているということである。この意味が実はスクーリング生にとって、スクーリング参加の大きい意義ともなっていた。学習の意欲を持つスクーリング生も家庭の中には、自由になる時間、集中して学習できる時間が多くとれないのが実態である。定着後も介護や保育の生活が現状と変わらないとすると、学習の場、息抜きの場の確保が彼らが充実した生活を送るための条件になると思われる。やはり行政を含め定着地でのサポートが必要となろう。必要なサポートはいろいろ考えられ、いろいろな地域ですでに試みられている。地域によっては、介護ボランティア、保育ボランティア、日本語教室に保育施設を設置する、日本語指導者が訪問しマンツーマン指導をする等が行われている。今後、これらの試みが拡大しいろいろな地域で行われることを期待す

る。

今年度から、厚生省、文化庁でも中国帰国者定着促進センター、自立研修センター修了後の学習支援に関するプロジェクトが開始される。このプロジェクトには、スクーリングという形態による指導の視点と、学習を希望する帰国者が、どのような生活条件下でも学習ができるようなサポートシステム作りに関する視点を取り入れる必要があると考える。

### 【注】

- 1) 帰国婦人コースについては平城(1994)に詳しい。
- 2) カリキュラムの定義及びカリキュラム開発については佐藤・小林(1994)中国帰国者定着促進センター(1995)に詳しい。また、個別指導のカリキュラム開発については池上(1995)に詳しい。
- 3) センターでは、学習者をプレイスメントテストの、学習適性と日本語の既習度の結果から大人クラスは、a・b・c・d・e・f・g・h・k・l・mの8タイプに分けている。中国帰国者定着促進センター(1995)に詳しい。
- 4) 目標構造表については佐藤・小林(1994)、中国帰国者定着促進センター(1995)に詳しい。
- 5) 以下の項目については、知識中心で、宿泊棟でのビデオ教材による解説授業を行っている。
- 6) 「絵単語」は非識字者への平仮名指導のための教材である。内藤(1995)に詳しい。

### 【引用・参考文献】

1. 池上摩希子(1995)「教授・学習課程における積極的な個別化に関する考察と提案」『中国帰国者定着促進センター紀要』3号、中国帰国者定着促進センター
2. 岡本包治・山本恒夫(1985)生涯教育対策実践シリーズ『生涯教育とは何か[課題から実践へ]』ぎょうせい
3. 佐藤恵美子・小林悦夫(1994)「カリキュラム開発および理念的目標の構造化について」『中国帰国孤児定着促進センター紀要』2号、中国帰国孤児定着促進センター
4. 田中望・斉藤里見(1993)『日本語教育の理論と実際』大修館
5. 中国帰国者定着促進センター(1995)『中国帰国者に対する日本語教育のカリキュラム開発に関する調査研究』
6. 内藤臨(1995)「実践報告 - 非識字者への平仮名指導」『中国帰国者定着促進センター紀要』3号、中国帰国者定着促進センター
7. 平城真規子(1994)「カリキュラム開発のための状況分析調査 - 「帰国婦人コース」開設に向けて - 」『中国帰国孤児定着促進センター紀要』2号、中国帰国孤児定着促進センター

[ 資料 1 ] ビリーフ調査 1 【学習アンケート】

( )の中から自分の考え方に合うものを一つだけ選んで を付けなさい。

1. 日本語は  
(非常に難しい、どちらかというとなかなか、どちらかというとなんとも、とても易しい) と思う。
2. 私が日本で日本語を話せるようになるには  
(4ヶ月、1年以内、1年～2年、3年～5年、6年以上) かかると思う。
3. 日本語の学習では、語彙を増やすことが最も重要である。  
(強くそう思う どちらかというとなかなかというとなんともそうは  
そう思う そうは思わない 思わない)
4. 日本語の学習では、文法の学習が最も重要である。  
(強くそう思う どちらかというとなかなかというとなんともそうは  
そう思う そうは思わない 思わない)
5. 読んだり書いたりする方が、話したり聞いたりするより易しい。  
(強くそう思う どちらかというとなかなかというとなんともそうは  
そう思う そうは思わない 思わない)
6. 読んだり書いたりする方が、話したり聞いたりするより重要である。  
(強くそう思う どちらかというとなかなかというとなんともそうは  
そう思う そうは思わない 思わない)
7. 日本語の学習では、テープを聞いて学習するのが重要である。  
(強くそう思う どちらかというとなかなかというとなんともそうは  
そう思う そうは思わない 思わない)
8. 日本語の学習では、例文をたくさん暗記するのが重要である。  
(強くそう思う どちらかというとなかなかというとなんともそうは  
そう思う そうは思わない 思わない)
9. 日本語の学習では、母国語をいかに日本語に訳すかを学習するのが重要である。  
(強くそう思う どちらかというとなかなかというとなんともそうは  
そう思う そうは思わない 思わない)
10. 授業中、みんなの前で誤りを訂正されても構わない。  
(強くそう思う どちらかというとなかなかというとなんともそうは  
そう思う そうは思わない 思わない)
11. 日本語を習得するには、日本の文化を知ることが必要である。  
(強くそう思う どちらかというとなかなかというとなんともそうは  
そう思う そうは思わない 思わない)
12. 日本語の学習では、教師の指示する方法にしたがって学習すればいい。  
(強くそう思う どちらかというとなかなかというとなんともそうは  
そう思う そうは思わない 思わない)



[ 資料 2 ] ビリーフ調査 2 ( 既習者のみ実施 )

学習方法について

- 1 . あなたの単語を覚える方法は、どれですか。いくつでもあてはまるだけ選んで下さい。
  - a . 何回も言う。
  - b . 何回も書く。
  - c . 先生の説明をよく聞く。
  - d . 作文や読解をして覚える。
  - e . 新しい語彙を使って、文を作る。
  - f . 単語カードやノートを作って、後で何回も見ると。
  - g . 発音が似ている中国語と関連させる。
  - h . 場面や形を連想して、イメージで覚える。
  - i . 言葉を分類して覚える。( 動詞、名詞、食べ物、性格を表す言葉、等 )
  - j . 自分の特別の方法がある。( どんな方法ですか。 )
  
- 2 . 会話の上達のために、何をしていますか。いくつでもあてはまるだけ選んで下さい。
  - a . 単語や表現を覚える。
  - b . 単語や表現を声に出して練習する。
  - c . 文法を勉強する。
  - d . モデル会話を覚える。
  - e . 学校でも外でも、できるだけ日本語を使う。
  - f . 間違えてもいいから、どんどん話す。
  - g . 町の中の日本人の会話や、先生の日本語をよく聞く。
  - h . 日本人が使った表現を覚える。
  - i . テレビのドラマを見たり、ラジオを聞いたりする。
  - j . 場面と表現を結びつけて覚える。
  - k . 自分の国の友達と日本語で話す。
  - l . その他 ( )
  
- 3 . あなたの文章の読み方は、どれですか。いくつでもあてはまるだけ選んで下さい。
  - a . わからない言葉があると、先に進めない。
  - b . わからない言葉は、気にしないで、どんどん進む。
  - c . わからない言葉の推測ができない。
  - d . わからない言葉は、推測しながら読む。
  - e . 前に勉強したことが、あまり利用できない。
  - f . 前に勉強した日本語の知識を利用する。
  - g . 段落ごとに、内容を考えて読む。
  - h . 接続のことばに注意をして、前後の関係を考えて読む。
  - i . 文章の枠組みを考えながら読む。
  - j . タイトルや見出し、図や表を参考にして、推測しながら読む。
  - k . % 理解したい。
  - l . 必要なことがわかれば、わからない部分があっても構わない。
  - m . 遅いが正確に読む。
  - n . 1 文 1 文の意味をとることはできるが、全体の理解は難しい。
  - o . 大意をつかむのは得意だが、細かい意味がわからない。
  - p . 興味がないものは読みたくない。
  - q . その他 ( )

- 4 . 聴解力の訓練のために、あなたは何をしていますか。  
いくつでもあてはまるだけ選んで下さい。
- a . 集中力をつける。
  - b . 語彙力を付ける。
  - c . テレビやラジオをたくさん聞く。
  - d . 日本人の声や、スピードに慣れる。
  - e . 日本人の考え方や、習慣を知る。
  - f . いつも興味を持って聞く。
  - g . 毎日、日本語のテープを聞く。
  - h . 同じテープを何回も聞く。
  - i . 聞いたことを、書いてみる。
  - j . メモを取る。
  - k . その他 ( )

[資料3]【問診票】 スク前

調査時期：スクーリング開始時(学習オリエンテーションを兼ねる)

調査日： 年 月 日( ) : ~ :

担当者：

調査項目	実態	備考
0 中国での社会生活状況 ( a・bタイプ用)		
・買い物経験 (家族の中では誰が主に担当?) (あなたの買い物頻度は?) ・ 自動車・バス利用経験 (どんな場合に利用?頻度は?)		
学習環境(宿泊棟での)		
・時間 1週・1日のうちで使える時間は 集中できる度合いは 家族からどの程度協力が得られるか 学習している間、子(親)の面倒を完全にまかせられるか		
・場所 1週・1日のうちで使える場所は どんな場所か		
・人(宿泊棟の先生、帰国者、家族) 日本語が話せる人が近くにいるか 会話などの相手やチェック役になってもらえる人はいるか 不明な点を中国語で聞ける人がいるか		
・物 PCが使える時間は 今自分で使っているものがあるか(教科書、辞書、テープ...) 使ったことはあるか、使えるか(テープ 辞書)		
生活環境		
・買い物 どこへ(711、交差点の八百屋、西友、駅下の露店...) 誰が 誰と ・ 出歩く先 どこへ (公園、新所沢駅より西か...)		
宿泊棟でのサポート		
・日常生活の中で不明な事、困った事等があるか (例えば:欲しい物をどこで買ったらいいか 手紙の出し方がわからない 子供同士のけんか、子供や非介護者とのけんか その他) ・ 困った時にどんな人に頼むか (家族・入所者・職員・親戚・保証人...)		
日本語学習について		
(学習者データでわからない部分を聞く) ・イメージがあるかないか どんな日本語が必要か		

退所後の生活環境について		
・イメージがあるかないか ・情報があるかどうか（どこから、どんな）		
退所後の日本語学習について		
・イメージがあるかないか  どのような... ・どんな自学の技能が必要か？ イメージを持っているか 実践しているか		
・退所後も継続して学習するための基礎をここでつくる（＝自学力） ・教師くらいしか日本語で話す相手がいないので、どんどん話そう		
日本・日本人に対するイメージ		
・現在どんなイメージがあるか		
日本・日本人に対する知識	日本事情テスト実施	





[資料5] c d e f g hタイプ スクーリングモデルカリキュラム

	話題・語彙	文法・自学	行動	宿題での指導/VR
2週				「概在日本の生活」
3週	スクーリングオリエンテーション/事前調査 事前調査： 学習者データ聴取（来日経緯、学歴、職歴、外国語・日本語学習歴、退所後の希望等） プレイメントテスト ビリーフ調査1・ビリーフ調査2 問診票（学習環境、生活環境、サポート、ニーズ等）			
	・日語面接 + F B	・課題学習方法 （テープレコーダーの使い方 /シート記入方法）	・日本事情調査 + F B	「応急処置」
課題	絵単語（あ・か行）/数字（0～5）			
チェック項目	絵単語（あ・か行）/数字（0～5）			
4週	・自己紹介項目（名前、家族、何人、誰、年齢、何才、どこ、出身地、中国の家族） ・「そうです/ちがいます」口頭練習のみ 以対称に触れる	・ノートの使い方 （ページの左側に中国語の意味を、右側に日本語の音に近い音の中国語の漢字を書く）		
課題	平仮名（あ・か行）/絵単語（さ行）/数字（0～10）/授業まとめ録音テープ			
チェック項目	平仮名（あ・か行）/絵単語（さ行）/数字（0～10）			
	・復習自己紹介項目 + 来日月日 ・時刻と生活（日課動詞語彙） 〔起/寝/食/来/帰+何時/時/時練習半〕 ・動詞文「ます・ません」口頭練習のみ	・課題学習方法 （平単1テープを聞いて読む）		「病院」
課題	平仮名（さ行）/絵単語（た行）/平単1読み/日課動詞（起・寝・食・来・帰）/聞きP62「時」P6「1～20」/授業まとめ録音テープ			
チェック項目	平仮名（さ行）/絵単語（た行）/平単1読み/日課動詞（起・寝・食・来・帰）/時-時半/11～20			
5週		・「郵便局・商店」料金の使い方 （巻末資料の見方・使い方）	・買い物 場所を尋ねる 〔すみません・どうも・どこですか・ありますか〕	
課題	平仮名（た行）/絵単語（な行）/平単1読み/聞きP10「数字2桁」P64「時半」P101「-月」/授業まとめ録音テープ			
チェック項目	平仮名（た行）/絵単語（な行）/平単1読み/数字2桁/-時-時半/-月/場所を尋ねる表現			
	・「私のこと」VTR（授業風景） ・初対面の挨拶 ・復習自己紹介項目 + 誕生日 ・時刻と生活（家事動詞語彙） 〔洗濯/掃除/料理/買い物 + ~さん/主人/私/誰 + ます/ません〕 ・動詞文「ます・ません」口頭練習のみ			「日本人の家庭」
課題	平仮名（な行）（あ・か・さ行）/絵単語（は行）/平単1読み/家事動詞（洗濯・掃除・料理・買い物）/聞きP19（100-1000）P39（1～10人）/授業まとめ録音テープ			

ユニット項目	平仮名(な行) (あ・か・さ行) / 絵単語(ば行) / 平単1読み / 数字(100~1000) (1~10人)			
6週	(初めての先生) ・初対面の挨拶 ・復習自己紹介項目+中国での仕事 ・時刻と生活 (日課・家事動話語彙) ・頻度の副詞 【毎日・時々・全然】 ・動詞文「ます・ません」口頭練習のみ			
課題	平仮名(ば行) (た・な・ば行) / 絵単語(ま行) / 頻度の副詞 / 聞取1 数字P21 (3桁) P67 「1~10分」 P98 「曜日」 / 授業まとめ録音テープ			
ユニット項目	平仮名(ば行) (た・な・ば行) / 絵単語(ま行) / 頻度の副詞 / 数字(3桁) / 1~10分 / 曜日			
		・「郵便局・商店」テキスト使用法	・買い物 値段を尋ねる 【すみません・どうも・いくらですか・書いて下さい】 郵便局で切手やはがきを買う 【お願いします・下さい】 買い物知識	「食卓のマナー」
課題	平仮名(ま行) / 絵単語(や行・わ・ん) / 聞取1 数字P20 (1000~10000) P99 (曜日) P69 (10-50分) P117 (金額) / 聞取2 P1 (ご家族は何人ですか) / 授業まとめ録音テープ			
ユニット項目	平仮名(ま行) / 絵単語(や行・わ・ん) / 曜日 / 時刻(10-50分) / 数字(1000-10000) / 値段を尋ねる表現			
7週	(初めての先生) ・初対面の挨拶 ・復習自己紹介項目+出身地について (気候・特産・北京まで) (夏/冬/寒い/暑い/特産/有名/何時間) ・時刻と生活 (+勉強・散歩) + 復習 頻度の副詞			
課題	平仮名(や行・わ・を・ん) / 絵単語(ら行) / 既習動詞+頻度 / 聞き取り1 P73 (5-55分) P78 (今何時) P118 (金額) / 聞取2 P2 (中国に家族はいますか) / 授業まとめ録音テープ			
ユニット項目	平仮名(や行・わ・を・ん) / 既習動詞+頻度 / 絵単語(ら行) / 時間 / 金額			
		・ノートの使い方	・電話 (公衆電話の使い方 / 講師を呼び、欠席を伝える) 【~先生、お願いします】	「友人に招待された時」
課題	平仮名(ら行) (ま・や・ら・わ行) / 絵単語(が行) / 聞取1 P66 (1-10日) P116 (4桁金額) / 聞取2 P36 (誰が料理しますか) / 授業まとめ録音テープ			
ユニット項目	平仮名(ら行) (ま・や・ら・わ行) / 絵単語(が行) / 1-10日 / 金額(4桁) / 電話			
8週	・疑問詞(誰/いつ/どこ)授業VTR ・便利表現【わかります/わかりません / 書いて下さい】 ・写真を使って聞いてみる (可能であれば事務室に来て講師にインタビュー)		・ひらがな50音のまとめ	
課題	平仮名(清音) (が行) / 絵単語(ざ行) / 聞取1 P92 (11-20日) P119 (いくらですか) / 便利表現(わかります・わかりません・書いて下さい) / 授業まとめ録音テープ			

フィッパ項目	平仮名(が行) / 絵単語(ざ行) / 平単1読み / 日時(11-20日) / 金額(4桁)		
課題		・名詞文「です/じゃないです/ですか」のまとめ	「人郷産(おまさんのくれた手土産)」
課題	平仮名(か・が行)(ざ行) / 絵単語(た行) / 聞レ1P93(21-31日)P120(-ください) / 文法練習プリント / 授業まとめ録音テープ		
フィッパ項目	平仮名(ざ行) / 絵単語(た行) / 平単1読み / (21-31日) / 名詞文		
9週	・趣味について 〔上手・下手〕		
課題	平仮名(さ・ざ行)(た行) / 絵単語(ば行) / 形容詞(すき・きれい・上手・下手) / 聞レ1P94(1-31日) / 家族の名前 / 授業まとめ録音テープ		
フィッパ項目	平仮名(た行) / 絵単語(ば行) / 平単1読み / 日時(1-31日) / 家族の名前		
課題		・「あいさつ」対使用法	・家庭訪問実習について ・接客表現 どなた / どうぞ(お入りください・お座り下さい・お楽に)また、来て下さい / 失礼します / いつも~がお世話になってます
課題	平仮名(たた行・ば行) / 絵単語(ば行) / 聞レ2P31(毎日何時に起きますか) / 授業まとめ録音テープ		
フィッパ項目	絵単語(ば行) / 平仮名(ば行) / 平単1読み / 接客表現		
10週	(初めての先生) ・初対面の挨拶 ・復習自己紹介項目+中国での生活		
課題	平仮名(はば行・ば行) / 聞取レ1P104(いつ家事をしますか)P111(誕生日はいつですか)P124(電話番号) / 聞レ2P41(~は好きですか) / まとめ録音テープ		
フィッパ項目	平仮名(ば行) / 平単1読み / 電話番号 / 形容詞		
課題		・ナ形容詞文「です/じゃないです/ですか」のまとめ	「手続き」
課題	平仮名(はば行・はば行・はば行) / 聞き取りレ1P26(109・110...)P27(109・110...)P126(電話番号) / 文法練習プリント / 授業まとめ録音テープ		
フィッパ項目	平仮名(はば行) / 平単1読み / 電話番号 / ナ形容詞文		
11週		・「電話」対使用法	・電話(電話を受ける) [います/いません/ちょっと待って下さい/また、電話お願いします/電話番号お願いします]
課題	平仮名(きゃ行・ぎゃ行) / 聞レ1助教録44(-枚) / 聞レ2P32(テレビを見ます) / 授業まとめ録音テープ		
フィッパ項目	平仮名(きゃ行・ぎゃ行) / 平単3読み / 動詞文読み / -枚		
課題		・動詞文「ます/ません/ますか」のまとめ	「就職面接を受ける」
課題	平仮名(しゃ行・じゃ行) / 聞き取りレ1助教録42(-個) / 聞レ2P20(どんな傘) / 文法練習プリント / 授業まとめ録音テープ		

フィッパ項目	平仮名(しゃ行・じゃ行) / 平単3読み / 傘の色 / -個 / 動詞文		
1 2週	・既習の絵単語を使ってイ形容詞の導入 〔おいしい・おいしくない/高い・安い / 大きい・小さい/長い・短い〕	・自学のスキル「日本語で何ですか」 ・ノートの使い方 (・日濶辞典の引き方) ・「身のまわりりの漢字」辞書の使い方 自分で必要だと思う語彙を選び自分のペースで覚える	
課題	平仮名(ちゃ行・にゃ行) / 身の躰1・2 / 聞11助数詞37(19-材) / 聞12P22(どんな人) / 授業まとめ録音テープ / (辞書引き)		
フィッパ項目	平仮名(ちゃ行・にゃ行) / 平単3読み / 身の躰1・2 / 19-材 / 便利表現 / (辞書引き)		
	・昨日 / 先週のこと(過去形導入)	・動詞文(過去形)のまとめ (・日濶辞典の引き方)	「工場で働く」
課題	平仮名(ひゃ行・びゃ行・びゃ行・みゃ行・りゃ行) / 身の躰? / 聞11助数詞42(-本) / 聞12P55(昨日、学校へ行きましたか) / 文法練習シート / 授業まとめ録音テープ / (辞書引き)		
フィッパ項目	平仮名(ひゃ行・びゃ行・びゃ行・みゃ行・りゃ行) / 平単3読み / 1-10本 / 身の躰? / 動詞文過去 / (辞書引き)		
1 3週	・「(身体部位) 痛い」	・「病気」辞書の使い方 ・「電話」辞書の使い方	・病気になる時の流れ ・症状を伝える ・電話 (欠席・欠勤・遅刻の電話) 〔休みます / ~時来ます(遅れます) / いいですか〕
課題	身の躰? / 聞11P54-55(助数詞) / 聞12P85(おいくつですか) / 授業まとめ録音テープ		
フィッパ項目	助数詞 / 身の躰? / 症状を伝える / 欠席欠勤遅刻の電話		
	・復習自己紹介項目+日本の生活 / 定着地 ・既習自己紹介項目面接準備シートに書いてみる 録音する	・カタカナの学習法 ・「面接」辞書の使い方	「団地の生活」
課題	身の躰? / 片仮名(ア行・カ行・ガ行) / 項目面接準備		
フィッパ項目	身の躰? / 片仮名(ア行・カ行・ガ行) / 片単1読み		
1 4週	・項目面接	・イ形容詞文「い/くない」のまとめ	
課題	身の躰? / 片仮名(サ行・ザ行・サザ行・タ行・ダ行・タダ行) / 四季の歌 / 文法まとめシート / 授業まとめテープ		
フィッパ項目	身の躰? / 片仮名(サ行・ザ行・サザ行・タ行・ダ行・タダ行) / 片単1読み / イ形容詞文		
			・引越しの挨拶 ・近所付き合い
課題	身の躰? / 片仮名(ナ行・バ行・ハ行・ハ行) / 授業まとめテープ		
フィッパ項目	身の躰? / 片仮名(ナ行・バ行・ハ行・ハ行) / 片単1読み / 引越しの挨拶		
1 5週	・日語面接 + F B		・日本事情テスト + F B
課題	身の躰? / 片仮名(ハ行・バ行・ハ行・マ行・ヤ行ワン・ラ行)		
フィッパ項目	身の躰? / 片仮名(ハ行・バ行・ハ行・マ行・ヤ行ワン・ラ行) / 片単1読み		
	・修了時アンケート / 調査	・今後の学習について	「入郷郷俗(日本の奥さんばけち)」
1 6週			「住宅事情」

資料 6	使用教材一覧
絵単語	中国帰国者定着促進センター作成教材
平仮名	ひらがな 文字の練習 / 聞き書き (中国残留孤児援護基金)
平単 1	ひらがな練習帳 1 読んでみよう (中国残留孤児援護基金)
平単 2	ひらがな練習帳 2 書いてみよう (中国残留孤児援護基金)
平単 3	ひらがな練習帳 3 すらすら読んでみよう (中国残留孤児援護基金)
片仮名	カタカナ 文字の練習 / 聞き書き (中国残留孤児援護基金)
片単 1	カタカナ練習帳 1 読んでみよう (中国残留孤児援護基金)
片単 2	カタカナ練習帳 2 書いてみよう (中国残留孤児援護基金)
片単 3	カタカナ練習帳 3 すらすら読んでみよう (中国残留孤児援護基金)
聞トレ1	聞き取りトレーニング 1 数字編 (中国残留孤児援護基金)
聞トレ2	聞き取りトレーニング 2 トピック編 (中国残留孤児援護基金)
身の漢	身のまわりの漢字 覚えよう (中国残留孤児援護基金)
日課動詞	中国帰国者定着促進センター作成教材
家事動詞	中国帰国者定着促進センター作成教材
頻度の副詞	中国帰国者定着促進センター作成教材
郵便局・商店	日本の生活とことば 2 (中国残留孤児援護基金)
あいさつ	日本の生活とことば 1 (中国残留孤児援護基金)
電話	日本の生活とことば 9 (中国残留孤児援護基金)
病気	日本の生活とことば 6 (中国残留孤児援護基金)
面接	日本の生活とことば 11 (中国残留孤児援護基金)
文法練習帳	日本語のきまり・練習帳 (中国残留孤児援護基金)
文法練習プリント	中国帰国者定着促進センター作成教材
日漢辞典の引き方	中国帰国者定着促進センター作成教材

[ 資料 1 ] [ 資料 2 ] [ 資料 4 ] の質問紙は全て中文で実施する。